プリペイドカードシステム 提案書 Aチーム 8月26日 10版

プリペイドカードシステム管理

ユーザは各店舗においてプリペイドカードシステムを利用することができます。 入金・支払い・ポイントを利用したサービス機能を持つ。 会計の際は、店員の操作によって行う。 カードの登録・停止は対応端末からユーザ自身が行える。 カードには、製造の時点で一意のIDが割り振られている。 カードの入金上限額は30000円とする。 入金は、紙幣のみに対応している。 入金額は、1000円単位とする。 カード表面にカードIDを表記してある。 カード内の情報はカードIDとパスワード、残高、ポイント残高を記憶する。 セキュリティのパスワードは半角5桁とする。 ポイントの最大値は10000ポイントまでと設定する。

対応端末の機能

入手手段としては、各店舗に設置してあるロッピーなどの端末からプリペイドカード を購入し、同時にパスワードの設定を行う 購入したプリペイドカードには予め200ポイント入っている 入金作業は対応端末にてユーザが行う ユーザは、店舗に設置してある対応端末で、パスワードとカードを使用することで 残高、利用履歴を閲覧できる カードを紛失した場合は対応端末または管理者に問い合わせする事により 停止・再開を行える 管理者はユーザからの問い合わせにより、カードの削除を行える 管理者のデータベースとレジ、対応端末は、常にリンクしている

管理者側の機能

ユーザの利用履歴照会 カードの停止・削除 登録ユーザ数は最大20名

ユーザの一覧表示

表示内容は、 残高 利用日時 ポイント残高 ユーザの利用履歴

店舗側の機能

店舗のレジにて、1円単位で支払いできる。 ポイント機能 支払い金額に応じて100円につき1ポイントを付与する。 ポイント残高を表示とポイント割引サービスを行う。 支払い時に1ポイント1円として割引処理をする。 ポイント割引サービスを利用できるか選択する。 ポイントは、100ポイントから使用でき、1ポイント単位で割引できる。 ポイントの最大値は10000ポイントまでと設定する。 支払いの際、残高とポイント残高の併用は、可能とする。 支払いの際、残高不足分を現金で支払うことは不可能とする。 支払いの際、ポイント割引は100円以下に割引することはできない。

ユーザの機能

店頭に設置してある対応端末を利用し、自分の残高・ポイント残高 利用履歴は最大10件を閲覧できる。









管理者側の機能



確認できる